

営業体制へのフォーカス2022

はじめに

「営業体制へのフォーカス」は国内主要製薬企業の本社営業部門組織、領域別MR数、営業第一線組織といった最新の営業体制を調査したマーケティング資料として2003年の発刊以降、年1回発刊の人気シリーズとして高い評価を得ており、おかげさまで2022年版は節目となる20回目の改訂となりました。これもひとえに、皆さまのご支援ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

同シリーズは、年々変化する医薬品業界の動向に即した形で対象企業や調査項目を変更させ、本年の「営業体制へのフォーカス2022」は、国内主要製薬企業45社（内資29社、外資16社）及びスペンチャリティ企業15社の60社を調査対象として、前年版よりも対象企業を6社増やしての刊行となります。

本書の結果から一部をご紹介しますと、国内主要製薬企業45社における2022年7月時点のMR数は36,483人となり、前年度の2021年からは1,881人の減少、1社あたりでは41.8人の減少となっております。また、2018年のMR数45,029人と比較しますと8,546人の減少となり、1社あたり189.9人減少したことになります。MRを中心とした営業部門のリストラ・人員見直しは数年前に大きなピークとなりましたが、現在も減少傾向は続いていることが数字からも明確に現れております。

新型コロナウイルスの拡大により、製薬企業はデジタルチャネルを活用したプロモーション活動を加速させ、医師へのアプローチ方法もリモート面談、メール、電話などマルチチャネルの活用が一般化している中で、今後の最適なMR数や営業体制構築のために「営業体制へのフォーカス2022」は主要製薬企業の営業組織、MR動向はもちろん、デジタル戦略を中心としたオムニチャネル体制、コントラクトMRやMSLの動向、そして販売提携や製品動向、開発品動向を本書1冊で把握することができる貴重な参考資料となっております。

20回目となる本年度版についても、是非皆様にあらゆる場面でご活用いただけるようスタッフ一同心より願っております。

2022年 8月

テスト マーケティング株式会社
メディカルディビジョンスタッフ一同

<調査項目>

1. 営業体制の沿革
2. 営業体制の概要
 - 1) 営業部門の組織
 - 2) 領域制の導入状況
 - 3) フィールド(支店～営業所)の営業組織
 - 4) 営業第一線組織長の役割
 - 5) エリアサポートスタッフの状況
 - 6) M S Lの組織
 - 7) 営業拠点(支店・営業所など)
3. MR 陣容の概要
 - 1) MR 陣容(5 ヶ年推移)と今後の採用計画
 - 2) コントラクトMR活用状況
 - 3) 訪宣活動のガイドライン
 - 4) 社内資格制度の導入状況
4. 販売提携の状況
5. 製品販売状況
 - 1) 国内医療用医薬品販売高推移(5 ヶ年実績)
 - 2) 上位製品の販売実績
 - 3) トップブランド3 製品販売比率
 - 4) 新製品販売状況(2017 年以降)
 - 5) 新製品販売高推移
 - 6) 新剤型、新用量一覧(2017 年以降)
 - 7) 適応拡大製品一覧(2020 年以降)
 - 8) MRの生産性
6. オムニチャネル体制
 - 1) デジタル戦略
 - 2) オウンドメディアの状況
 - 3) コールセンターの状況
7. 国内開発状況(フェーズⅡ以降)

<調査対象企業>

国内主要製薬企業 45 社(内資 29 社、外資 16 社)
スペシャリティファーマ企業 15 社(内資 5 社、外資 10 社)

<調査時期>

2022 年 7 月～2022 年 8 月

<調査実施機関>

テスト マーケティング 株式会社

＜総括編＞

- 調査対象企業 45 社の比較 ■ (3)
- 1. 領域別MRの導入状況 (5)
- 2. MRの施設担当方法 (9)
- 3. 営業第一線最小組織長の機能と最小組織の状況 (10)
- 4. MR陣容 (12)
- 5. コントラクトMR (15)
- 6. 国内医療用医薬品販売高状況 (18)
- 7. 販売提携と開発状況一覧 (25)
- 8. オムニチャネル体制 (26)

＜企業事例編＞

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 武田薬品工業 (35) | 24. 日本化薬 (263) |
| 2. 第一三共 (49) | 25. 鳥居薬品 (271) |
| 3. アステラス製薬 (63) | 26. マルホ (279) |
| 4. エーザイ (75) | 27. ゼリア新薬工業 (287) |
| 5. 塩野義製薬 (86) | 28. 三和化学研究所 (294) |
| 6. 田辺三菱製薬 (97) | 29. E Aファーマ (301) |
| 7. 住友ファーマ (110) | 30. 中外製薬 (310) |
| 8. 小野薬品工業 (121) | 31. MSD (323) |
| 9. 協和キリン (133) | 32. ファイザー (336) |
| 10. 大塚製薬 (144) | 33. グラクソ・スミスクライン (352) |
| 11. 大正製薬 (154) | 34. アストラゼネカ (363) |
| 12. 帝人ファーマ (161) | 35. ノバルティスファーマ (378) |
| 13. 杏林製薬 (170) | 36. サノフィ (391) |
| 14. キッセイ薬品工業 (178) | 37. バイエル薬品 (403) |
| 15. 旭化成ファーマ (187) | 38. ブリストル・マイヤーズ スクイブ (414) |
| 16. 科研製薬 (195) | 39. 日本ベーリンガーインゲルハイム (425) |
| 17. 大鵬薬品工業 (204) | 40. ヤンセンファーマ (434) |
| 18. Meiji Seika ファルマ (213) | 41. 日本イーライリリー (447) |
| 19. 持田製薬 (222) | 42. ノボノルディスク ファーマ (457) |
| 20. 興和 (231) | 43. アッヴィ (466) |
| 21. 参天製薬 (238) | 44. アムジェン (475) |
| 22. 久光製薬 (246) | 45. ユーシービー・ジャパン (482) |
| 23. 日本新薬 (254) | |

＜スペシャリティファーマ編＞

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. アレクシオンファーマ (493) | 9. 富士フィルム富山化学 (533) |
| 2. 卜ルリアファーマシューティカルス・ジャパン (498) | 10. 丸石製薬 (538) |
| 3. ギリアド・サイエンシズ (502) | 11. ムンディファーマ (543) |
| 4. CSLベーリング (507) | 12. メルクバイオファーマ (548) |
| 5. JCRファーマ (512) | 13. ヤクルト本社 (553) |
| 6. ノーベルファーマ (517) | 14. ルンドベック・ジャパン (557) |
| 7. バイオジェン・ジャパン (523) | 15. レオファーマ (561) |
| 8. フェリングファーマ (528) | |

「営業体制へのフォーカス 2022」＜CD-R付＞

頒価：350,000円(消費税別)

発行日：2022年 8月 18日

発行人：一丁田 哲

発行所：テストマーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-14

パールビル 4F

TEL03-5642-3768

FAX03-5642-3778

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部
または全部の複製無断転載をお断り致します。